

●福生市表彰条例に基づく一般表彰について

介護認定審査会委員として貢献された西村理氏、学校薬剤師として貢献された吉野美佐子氏、横田陽子氏、交通安全推進委員会委員として貢献された三浦宣詔氏、環境審査会委員として貢献された祖父江重夫氏、廃棄物減量等推進員として貢献された森田芳隆氏、保護司として貢献された田村祥子氏、民生委員推薦委員会、防災会議委員、青少年問題協議会委員をはじめ各種委員会、審議会の委員として貢献された秋山美左江氏、廃棄物減量等推進員及び青少年問題協議会委員として貢献された川浪裕之氏、消防団員として貢献された方や現在もなお活躍されている松原朝範氏、飯田理広氏、小林真氏、田中秀齊氏、高崎雅俊氏、田村宜則氏、堀江祐樹氏、明智弘樹氏、井上大地氏、笹本弥重氏、岡部広和氏、沖倉慶充氏、荻原崇広氏、尾澤祥太氏、高水康平氏、廣瀬駿氏、伊東隆広氏、市のまちづくりのために多額の現金を寄附された町田優子氏、臼井暁子氏、市道用地として土地を寄附された内田和一氏を一般表彰するもの。

●市道路線の認定について

国土交通省関東地方整備局相武国道事務所と周

辺道路の維持管理に関する覚書を締結したことに伴い、国道16号拡幅整備後、武蔵野橋北交差点の周辺に整備された新たな路線は福生市が維持管理を行っていく必要があることから、道路法第8条の規定に基づき、市道として道路認定するもの。

●令和4年度福生市一般会計補正予算(第4号)

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金による保育所等や小・中学校の給食食材費の高騰対策及び高齢者の家計支援に係る施策の実施に当たり、歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億8618万7千円を追加総額を268億3558万8千円とするもの。

歳入は、国庫補助金で新たに原油価格・物価高騰対応分の交付限度額が示された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金1億6618万7千円と、財政調整基金繰入金2千万円。

歳出のうち、社会福祉費は、高齢者の家計支援として1万円分のシニアお買物券配布事業に1億7676万円。給食食材費の高騰対策では、児童福祉費で保育所運営事業認定こども園施設型給付事業、地域型保育給付事業に445万4千円、教育総務費では、給食食材調達事業を781万3千円増額する。

委員会の審査から

各常任委員会から報告された 主な審査概要をまとめました

建設環境委員会

6月14日に委員会が開催され、2件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。

●令和4年度福生市一般会計補正予算(第3号) (建設環境委員会所管分)

問 シェアサイクル観光連携推進協議会負担金の詳細について伺う。

答 令和4年度よりハロースイクリングによるサイクルシェアリングを導入。福生市と立川市間で一定の条件で利用された方に自動で無料クーポンなどの付与するためのアプリの改修費用及び無料クーポンなどの特典費用をまかなうためのもの。

問 プレミアム付商品券事業の流れと商品券の構成について伺う。

答 7月より市広報やホームページ等で周知し、申込み受付は8月1日から15日。応募多数の場合は分配方式による抽選となる。販売は市内の6か所の郵便局で9月1日から行う。利用期間は令和4年9月16日から令和5年1月31日まで。商品券は、全店共通券13枚と、大型店を除く店舗で利用できる券13枚を合わせた

市民厚生委員会

6月15日に委員会が開催され、1件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。

●市道路線の認定について

問 認定がこの時期となった理由を伺う。

答 国道16号の6車線化への拡幅や交差点の切り替え等の工事は平成30年3月に終了していたが、その後、付帯工事などが行われていたことや、都道とも接しており、相武国道事務所と都との維持管理等の協議に時間を要したことなどから、この時期の認定となった。

問 市道第337号線起点付近、武蔵野橋高架下の牛浜側に設置の防犯カメラの管理について伺う。

答 遠隔により常時監視しており、録画データ及び機器の維持管理は相武国道事務所で行っている。なお、市道となった後も、引き続き相武国道事務所が管理する合意をしている。

総務文教委員会

6月16日に委員会が開催され、4件の議案を審査し、原案のとおり可決及び同意されました。

また、陳情3件については、採択が1件、不採択が1件、継続審査が1件となりました。

●令和4年度福生市一般会計補正予算(第3号) (総務文教委員会所管分)

問 文化プログラム学校連携事業について、対象学年や事業内容の詳細を伺う。

答 対象は福生第三小学校の第6学年の児童が和太鼓を、第3学年から第6学年までの児童が藍染め体験を行う。また、福生第五小学校では、第1学年、第2学年、第3学年と第5学年において民族音楽体験を、第4学年と第6学年では生け花体験を行う。

問 学校マネジメント強化事業について、副校長補佐会計年度任用職員が4名配置となるが、配置の基準について伺う。

答 配置の基準は、昇任2年目までの副校長が配置されている学校で3校。また令和3年10月の時間を超えて接種を行い、対象者は約2200人を予定。更に、定期接種の対象年齢を過ぎて実費で任意接種を受けた方に対し、費用の助成を行う。

問 今回の補正の歳入では、財政調整基金繰入金9千万円とあるが、財源不足となった理由について伺う。

答 今回の補正は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などの特定財源を積極的に活用しているが、主にプレミアム付商品券事業でマイナス2345万円、子育て世帯等臨時特別支援事業でマイナス2036万8千円、予防接種事業でマイナス4308万7千円財源不足となったため。

問 不登校対策事業について、事業内容の詳細を伺う。

答 不登校対策の充実を図り、その成果と課題を明らかにする調査研究を行う。東京都の委託事業である。福生市では福生第二中学校において、不登校の未然防止をテーマに研究に取り組むこととなっている。

●中央図書館改良工事 (建築)請負契約

問 近くには福生第一中学校があり、通学路も存在するが、安全対策について伺う。

答 契約前ということもあり明言はできないが、法令を遵守し、生徒の登下校の時間帯を避け、資材等搬入作業を行う予定である。

問 本事業を予定価格事前公表対象案件とした理由について伺う。

答 福生市では、入札事務の透明性の確保、公平性及び競争性の確保を図ることを目的に、平成19年度から対象案件を130万円以上の工事案件として予定価格の事前公表を行っている。

問 今回の工事は共同企業体(JV)ということであるが、JVに発注するということのメリットについて伺う。

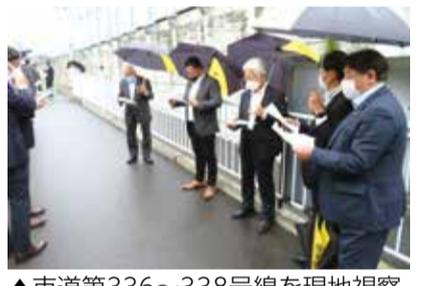
答 福生市としては、JVとして工事を受注させることから、中小企業の受注機会の増大につながるものであり、構成員となる企業にとってもJVとして公共事業を受注した実績につながるものと考えている。



▲改良工事を行う中央図書館

●市道幹線II-11号線 (本町通り)電線共同溝設置工事(第二区)請負契約

問 入札の参加社は6社で、その内5社は辞退となっているが、主な辞退



▲市道第336～338号線を現地視察



▲臨時さくらクラブ(三小児童クラブ)を現地視察